

## 第 4 学 年 音 楽 科

### 教科目標

- ① 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
- ② 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにします。
- ③ 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにします。

### 学習計画

月	単元・題材名	時数	学習活動
4	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ さくらさくら ◎ さくら変そう曲	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情景を想像し、気持ちを込めて表現する。</li> <li>・ 歌い継がれてきた日本の歌や箏の音色に親しむ。</li> </ul>
	○ ひびけ歌声 ・ 飛べよツバメ ◎ 「サウンドオブミュージック」から	4	
5	○ 音楽の中の会話を楽しもう ◎ 歌劇「魔笛」から「パパパ…」	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男声と女声の呼びかけ合いに注目して聴く。</li> </ul>
	○ ひょうしとせんりつ ・ エーデルワイス ◎ トルコ行進曲 ・ ラバース コンチェルト	8	
6	◎ メヌエット ・ メリーさんの羊	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拍子の違いを感じて、歌ったり聴いたりする。</li> <li>・ 旋律の反復と変化を生かして表現する。</li> </ul>
	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ まきばの朝		
7	○ せんりつと音色 ・ ゆかいに歩けば ・ とんび	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情景を思い浮かべ、曲想を工夫して表現する。</li> </ul>
	○ めざせ楽器名人 ・ ハローサミング ・ 「もののけ姫」から	6	
9	○ アンサンブルの楽しさ ◎ アラ ホーンパイプ ・ アラ ホーンパイプ	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パートの役割を意識し、聴き合いながら演奏する。</li> </ul>
	○ 音のスケッチ ・ 川のイメージから音楽をつくらう ・ 川はよんでる ◎ 交響曲第6番田園から	3	
10	○ お祭りや民謡めぐり ・ おはやしのリズムやせんりつで遊ぼう ・ ソーランぶし ◎ サンバの音楽 ほか	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我が国の音楽のリズムや旋律に親しみ、それらをもとに自分たちの表現を工夫する。</li> <li>・ 民謡の旋律や歌い方に親しむ。</li> <li>・ いろいろな国の音楽に親しみ、リズムや楽器の特徴を感じ取るとともに、日本の音楽の特徴やよさに気付く。</li> <li>・ 声やいろいろな打楽器でサンバのリズムを演奏して楽しむ。</li> </ul>
11	○ 日本のお祭りをたずねて ◎ 日本のお祭りの音楽	2	
12	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ もみじ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土に伝わる音楽や、日本各地のいろいろな音楽を聴き、特徴やよさを感じ取る。</li> </ul>
	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ どこかで春が	2	

リ  
コー  
ダー  
曲  
集  
「  
ピ  
ポ  
ピ  
ポ  
」

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏は来ぬ</li> <li>里の秋</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ えんそうのツボ</li> <li>・ ラ クンパルシータ</li> </ul>	5	<p>を味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽器やパートを選んで、アンサンブルを楽しむ。</li> <li>旋律の特徴や曲想を感じ取って、楽曲に合った演奏を工夫する。</li> <li>パートの役割や、ほかのパートとのかかわりを意識し、聴き合いながら演奏する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音楽のききどころ</li> <li>◎ ノルウェー舞曲第2番</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音のスケッチ</li> <li>・ 音階から音楽をつくろう</li> <li>◎ 管弦楽のための木挽歌から</li> <li>◎ 交響組曲「寄港地」から</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素を手がかりに、楽曲の形式をつかみ、全体を味わって聴く。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音のスケッチ</li> <li>・ 音階から音楽をつくろう</li> <li>◎ 管弦楽のための木挽歌から</li> <li>◎ 交響組曲「寄港地」から</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなの音楽パーティー</li> <li>・ こきょうの春</li> <li>・ グッデーグッバイ</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材曲の構成音を調べ、音階によって曲想が変わることを知る。</li> <li>選んだ音階をもとにつくった音型を反復し、拡大や縮小、重ね方等を工夫して音楽をつくる。</li> </ul>
授業時数の合計			60 時間

### 音楽科の評価

観点	評価基準	評価方法
音楽への 関心・意欲・態度	進んで音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習態度</li> <li>学習の様子</li> <li>歌唱や演奏、音楽づくり</li> <li>鑑賞中の様子や内容</li> <li>音楽ワーク</li> <li>テスト</li> </ul> <p>など、総合的に評価します。</p>
音楽表現の創意 工夫	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっているかどうかという観点から見ます。	
音楽表現の技能	音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているかどうかという観点から見ます。	
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いているかどうかという観点から見ます。	